

未来の知財を担うあなたへ

弁理士事務所 合同就職説明会

2026
2/19 木

15:00～18:00

(14:30受付開始)



会場:TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター

(大阪メトロ 心斎橋駅 徒歩2分)

⇒アクセスマップは裏面参照

参加対象

知財に興味のある学生・社会人

(弁理士、事務員、図面作成者、知財翻訳者などの志望者。資格経験不問)

参加費

無料

服装自由・履歴書不要

こんな方におすすめ

- ・弁理士の仕事（特許、商標等々）に興味がある
- ・弁理士試験合格後の進路を検討している
- ・実際に働く弁理士や所員の話を聞いてみたい
- ・企業との違い、キャリアパスが気になる

PROGRAM

第1部：15:00～15:30 ステージイベント

- ・弁理士事務所の明るい未来（藤村明彦弁理士）
- ・就職活動で成功するための秘訣（株）知財塾 上池睦氏）
- ・先輩（新卒）体験談（加藤朝巳弁理士）

第2部：15:30～17:00 ブース形式による個別説明

第3部：17:00～18:00 交流会

（お茶、フリードリンク付）

参加予定事務所

大阪近郊の約20所

（申込いただいた方には事務所リストを事前に配布します）

申込方法

QRコードまたはURLからお申し込みください。

<https://x.gd/rjhYj> (事前申込制／定員に達し次第締切)



主 催：日本弁理士会

弁理士という専門職の魅力を、実際に働く人々の声から知ってほしい。

知財の最前線で活躍する弁理士たちが、あなたを待っています！

お問い合わせ：日本弁理士会 事務局 業務国際課

(TEL：03-3519-2703 / MAIL：gyoumukokusai@jpaa.or.jp)

裏面に続く

アクセスマップ 大阪市中央区南船場3-11-18 郵政福祉心斎橋ビル11階

- 大阪メトロ御堂筋線 心斎橋駅 3番出口 徒歩2分
- 大阪メトロ長堀鶴見緑地線 心斎橋駅 1番出口 (2026年3月末まで一時閉鎖) 徒歩1分



インタビュー特集 「私が弁理士事務所を選んだ理由」 ～多様なバックグラウンドを持つ3人が語る、リアルな就職体験～



加藤 朝巳 さん (新卒・弁理士)

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻修士課程修了 (2024年)

理系 × 法律で広がる可能性。大学在学中に弁理士試験合格

理系の資格職に 관심を持っていた時期があり、薬剤師といった道も選択肢の一つとして考えていました。一方で、母が行政書士として働く姿を身近に見ていましたことから、法律系の資格にも自然と興味が向くようになりました。理系と法律の知識をどちらも活かせる職業を調べる中で、「弁理士」という仕事に出会いました。

地元である東京に残って働くこと、そして、国家資格として自分の実力を客観的に示せる点に魅力を感じ、大学在学中から弁理士を志しました。

大学では化学、特に電気化学を専攻し、有機ハイドライドを燃料とする固体酸化物形燃料電池の発電に関する研究を行いました。研究や学びを通じて得た知識や論理的な思考力は、将来、弁理士としての仕事にもきっと活きる。そう思いながら学びを深めていました。

弁理士事務所は、企業以上に実力主義とされることも多く、不安もありました。けれど、自分の努力と実力で評価される世界に身を置くことで、より大きく成長できると考えました。また、「〇〇会社の誰か」ではなく、一人の専門職として個人の実力を認められるような働き方がしたいという思いも、進路を決めるうえで、大きな決め手になりました。

その後、在学中に弁理士試験に合格。卒業後はそのまま新卒で弁理士事務所に就職しました。

現在は、明細書の作成や中間応答、審査官との面接、情報提供、さらに海外代理人との面談など、幅広い業務を担当しています。特に海外代理人との面談では英語での直接のやり取りが必要になるため、英会話の勉強にも力を入れています。技術、法律、語学と多面的にスキルを伸ばせる点に、日々やりがいを感じています。

また、弁理士試験を通じて築いた「弁理士同期」とのつながりは、世代を超えて刺激を受けられる貴重な関係です。まだまだ学ぶことばかりの毎日ですが、成果が徐々に評価に結びつくことを実感できたり、自分の裁量で時間の使い方を調整できる場面があることに、この職場ならではの働きやすさを感じています。

弁理士は、技術を法的に整理し、社会に価値を届ける専門職です。個性や得意分野を強みに変えられる職業でもあり、理系の知識を軸にしながら新たなキャリアを切り開きたい方に、ぜひ知っていただきたい仕事です。



坪 龍志 さん（博士号取得後に弁理士事務所入所）

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 基礎理工学専攻後期博士課程修了（2015年）

研究で培った専門性が、そのまま実務で武器になる。

博士課程在学中にいま勤務している弁理士事務所から内定をもらいました。専攻する化学（光学活性化合物の合成）の研究を進める傍ら弁理士試験の勉強も開始し、翌年に博士号（理学）を取得し、直後に事務所に入所しました。弁理士という職業をはっきり認識したのは修士課程で知財関連の講義を受けたときです。

大学の研究室では弁理士事務所が就職先として認知されているとは言えません。それでも拘らず一般企業でなく弁理士事務所に就職しようと思ったきっかけは、企業の博士号取得者の採用枠がきわめて少なかったからです。自分の研究テーマを記載した応募書類を提出しても、人気企業であれば面接まで進むことも困難です。それに比べると弁理士事務所の門戸は広く、採用されるかどうかは別として面接まではだいたい進めますし、求職者をじっくり評価してくれます。私はJREC-INという研究人材を対象とした求人サイトで現在の事務所の求人情報を得ました。身近に弁理士さんがいたこと、弁理士資格が無くともとりあえず仕事ができること、研究に対する未練がさほど無かったことなどの事情も、自分の背中を押してくれました。弁理士事務所に就職すると、研究者時代とは業務はがらっと変わりました。事務所で最初に任されたのはデータベースへの入力作業や所内システムのプログラミング、請求書の作成などの事務作業であり、いわゆる特許技術者としてのお仕事ではありませんでした。しかしこれは結果的に、弁理士事務所のお仕事の流れを理解するのにとても役立ちました。やがて弁理士として働くことになりましたが、研究者時代に執筆していた学術論文と特許明細書とは親和性があると思います。どちらも、課題を設定し、その解決策を提示し、実験したデータでそれを検証していくという大枠の流れは共通しているので、特許明細書の作成には戸惑うことなく入っていけました。また弁理士として行う発明者へのインタビュー、発明の把握等の業務には、研究者として培った自分の専門性が大いに役立っていると思います。研究と比較した弁理士事務所の仕事の特徴として、現場に拘束されない、PCさえあればどこでもできるといった自由度の高さがあります。また成果が出るまで長い期間を要する研究と比較すると、1つの出願が特許になるまでの時間が短いことも良いと思います。さらに、私はいまの事務所しか経験していませんが、一般企業に就職するよりも業界内での転職がしやすく、ポストドクの方が悩みがちな失業のおそれが少ないという利点もあります。このように弁理士事務所は、ポストドクの方の就職先として大いに検討する価値があると思います。



付 哲斌 さん（中国出身・ポスドク・留学生）

（中国）内蒙古大学 化学工程専攻

静岡大学 創造科学技術大学院 光ナノ・物質機能専攻 後期博士課程修了（2014年）

国を超えて、知財の専門性は通用する。

大学では理学寄りの化学工学を専攻し、化学の基礎や化学プラント制御を学びました。大学卒業後は日本の大学院で物理化学を深く学び、論理的思考力や問題解決力、専門知識を身につけました。これらは弁理士業務において、発明の理解や拒絶理由への適切な応答に不可欠な基盤となっています。

弁理士を目指した理由と良かった点：専門知識を直接活かせる仕事を探す中で、技術的バックグラウンドが重要な弁理士という職業に魅力を感じ、知的財産法を学び資格を取得しました。知財制度や技術の変化に常に応じる必要があります、学び続けられること、自己成長を実感できる点がやりがいにつながっています。

日本への留学・就職理由：量子化学の教育水準が高い日本で基礎研究を行いたいと考え来日しました。大学で研究職に就く中で、専門知識を活かせる職を探し、日本の弁理士事務所に就職しました。

弁理士事務所を選んだ理由と就職時に感じたこと：企業は留学生の母国語にしか注目しないと感じ、語学力と専門性を両立して活かせる外国業務を扱う弁理士事務所を選びました。言語の壁や、日本特有の就職文化・プロセスへの適応には苦労しました。また、ポストドクや博士課程修了者向けの就職情報が少ないことも課題でした。その一方で、弁理士業務は、研究活動で培った論理的思考力や文献調査、文章力、プレゼン能力を活かしやすく、企業文化への適応を求める一般企業よりも、ポストドク経験者にとっては就職しやすいと感じました。

弁理士事務所での仕事とポストドク経験の活用：出願書類の作成や中間処理、外国出願対応などを担当しています。特に中間処理業務は、学術論文の査読や質疑応答の経験と似ており、論理的・説得力のある意見書作成に役立っています。

仕事のやりがいとメッセージ：関わった特許が製品化されたときは大きな達成感があります。弁理士は技術を法的に整理して社会に価値を届ける専門職であり、個性や専門性を活かせる仕事です。理系知識を活かして新たなキャリアを築きたい方におすすめです。